

事業所における自己評価結果（公表）放課後等デイサービス

公表：令和 6 年 3 月 2 9 日

事業所名 みらいサポート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・不要なものはすべて棚の中に収納し、部屋を広く使えるようにしています。	
	②	職員の配置数は適切である	6		・利用人数によって調整しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6		・室内は段差をなくし、広いスペースを確保しております。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		・業務の見直し、打ち合わせを行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・すぐに改善できるよう心掛けています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		・当事業所のホームページで自己評価並びに保護者の方の評価を公表しております。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6		・現在は、保護者の方の評価と社内評価のみですが、必要があれば、外部評価の実施を検討いたします
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	・他の事業所を見学し、研修を受けております。	・外部研修の参加や内部研修により支援の質を高めるよう努めています。 ・研修に参加した際は、内容等をまとめ、職員で共有し、支援に活かしていきたいと思います。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		・お子さまや保護者に寄り添った支援を毎日職員同士で話し合っています。	・利用に際しての見学時に保護者面談を行い、ニーズを把握し、個別支援計画を作成していますが、発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしてまいります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		・お子さんの興味・関心を踏まえ、職員間で意見を出し合い立案しています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		・様々な自立課題や運動遊びなどを取り入れる中で、同じ内容にならないよう意識しています。	・学校の活動内容を把握し、学校で行われている活動等も取り入れていきたいと思います。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	6		・子どもの様子や状況を配慮し支援をしています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		・職員間で支援会議を行いながら、一人ひとりに沿った計画を立てています。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		・十分な話し合い情報共有をしています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		・記録をして次の支援に活かせるようにしています。 ・途中で退勤する職員は、支援終了後の打ち合わせに出られないが、内容は次の日に共有しています。	
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		・記録の振り返りが習慣になっています。 ・記録をもとに翌日、または次回に活かしています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・保護者の方との面談を記録し、半年に一度行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6		・ガイドラインに沿った支援を心掛けています。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		・主に児童発達管理責任者が参画しています。担当者会議の内容等は職員間で共有しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認など）連絡調整（送迎時のトラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	・行事予定や下校時刻のお便りを保護者の方から共有させてもらっています。	・学校の予定に変更があった場合、保護者の方に電話やラインでのご連絡をいただくようお願いしております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6		・必要に応じて情報共有をしています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉕	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		・定期的に臨床心理士が来援し、助言を受けておりますが、児童発達支援事業所での様子等の共有を積極的に行ってまいります。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6		・今後、そのような機会を考えてまいります。
	㉗	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5		・放課後等デイサービス事業所の定期的な連絡会に出席し、子ども部会等の情報を得ています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・連絡帳や送迎時にお子さんの発達の状況や課題についてフィードバックをしています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	2	・相談があった際は、職員間で話し合い、アドバイスができるようにしています。	・保護者の方からの相談に対して、現在のお子様の様子を踏まえた接し方等を提案させていただきました。
	保 ㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		・契約時に丁寧な説明を心掛けております。	

	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		・必要に応じて都度行っています。	
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	・保護者のかたのご要望を伺い、時期など検討しています。	・年に1～2回の保護者会を検討しています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	③⑤	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		・鍵のついた書庫で保管しています。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・わかりやすい言葉でカードや画像等を用いて視覚的にも伝えています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6		・今後、事業所行事を検討の際、地域の方の招待等を考えたいと思います。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		6		・今後、保護者の皆様への周知を考えてまいります。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		・2か月に1度、避難訓練を実施しています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・講師を招いて、虐待防止についての研修を受けています。 ・研修に参加していないが、どういことが虐待になるか指導を受けています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		6	・現時点では拘束の必要性はないと感じますが、衝動性が強いお子さんには、危険回避のための身体拘束について説明し、同意を得ている。	・対象のお子様がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載してまいります。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		・事例集を作成し、都度話し合って改善できるようにしています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

放課後等デイサービス

公表：平成 年 月 日

事業所名 みらいサポート

保護者等数（児童数） 8 名 回収数 6 名

割合 75 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6					
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。	2	4				
適切な 支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか。	5	1			・モニタリング時など困りごとを聞き、聞き取りをもとに作成されている。	・お子様の様子を把握し、今後も計画書を作成します。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6					
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5				
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				・いつも丁寧に説明がある。	・お迎え時に、支援の内容やお子様の様子などをお伝えしています。また、利用者負担額等は、入所時に説明させていただいておりますが、変更等が生じた場合は、都度お知らせいたします。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6				・些細なことも伝え合い、理解してもらいながら、配慮されている。	・今後も細やかな情報交換ができるよう、努力していきたいと思います。

	⑨	保護者に対して面談や、育児に対する助言等の支援が行われているか	6				・いつも親身に話を聞き、アドバイスをしてもらっている。	・定期的な面談の他にも時間を調整することができますので、必要に応じて対応させていただきます。
保護者への説明等	⑩	父母の会の活動支援や、保護者会などの開催により保護者同士の連携が支援されているか	4	2				
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1			・送迎をしてほしい。	・現在は、人員的に送迎は難しいのですが、今後検討してまいります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6				・子どもの声に耳を傾け、いつも寄り添った支援をしてもらい感謝している。	・お子さまや保護者の皆様の思いを受け止めながら、情報伝達等もご理解いただけるよう努めます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6				・丁寧に知らせてもらっている。	毎月のお便りの他に、ホームページもごさいますのでご覧ください。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	5	1				
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	4	2				
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2				
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1			大好きな友達や先生に会えるのを楽しみにしている。	・運動や製作の他にも、「こんなことをしたい」というお子様の思いを聞きながら、活動プログラムを考えております。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	5	1			・午後の終了時間をもっと長くしてほしい。 送迎もしてほしい。 ・いつも先生方の気持ちの良い挨拶や笑顔で私も子どももほっとした気持ちになる。 寄り添った支援がありがたい。	・職員の勤務時間や人員の配置等の関係で、午後の療育時間の延長や送迎は難しい状態ですが、今後検討してまいります。 ・サポートでの活動を通して保護者の皆様とお子様の心身の成長を感じることができるよう努めてまいります。